

平成 25 年

長野県の災害と気象

長野県

目 次

災害番号	災害の種類(名称)	災害発生日(期間)	災害発地域(場所)	頁
1	雪害	1月～3月	佐久市以下10地域19市町村	1
2	地すべり	2月12日～6月28日	大田市以下1地域2市町村	32
3	2月土砂災害	2月22日	泰阜村	85
4	強風	3月13日	安曇野市	89
5	強風	3月18日～3月20日	諏訪市以下5地域6市町村	92
6	地すべり	3月25日	大田市	95
7	土砂災害	4月4日	小海町	100
8	低気圧(強風)	4月6日～4月8日	飯田市以下4地域4市町村	104
9	凍霜害・地すべり	4月12日	東御市以下4地域4市町村	107
10	雪害(農業被害の発生)	4月21日	佐久市以下2地域4市町村	114
11	凍霜害	4月22日～4月23日	小諸市以下9地域45市町村	117
12	地すべり	4月30日	小諸市	121
13	融雪	5月1日	栄村	126
14	凍霜害	5月4日	中野市以下1地域2市町村	129
15	突風	5月6日	辰野町以下2地域2市町村	131
16	凍霜害	5月8日	塩尻市以下1地域2市町村	134
17	降雨・降ひょう	5月26日	大田市	136
18	降ひょう	6月5日	上田市以下2地域3市町村	139
19	土砂災害・降ひょう	6月6日	駒ヶ根市以下2地域2市町村	142
20	台風4号、梅雨前線豪雨	6月18日～6月20日	辰野町以下5地域9市町村	146
21	雨	7月4日～7月5日	松本市	151
22	豪雨	7月22日	佐久市	154
23	豪雨・降ひょう	7月27日	佐久市以下2地域2市町村	157
24	雨	7月28日	上田市	161
25	豪雨	8月1日	小谷村	163
26	土砂災害	8月7日	佐久市	166
27	雨・落雷・降ひょう・土砂災害	8月15日	岡谷市以下3地域8市町村	172
28	雨	8月23日～8月24日	松川町以下6地域12市町村	176
29	地すべり	平成24年4月18日～平成25年9月2日	長野市	180
30	地すべり	9月5日～11月27日	長野市	343
31	台風18号	9月15日～9月17日	小諸市以下10地域61市町村	372

32	台風 26 号	10 月 16 日	上田市以下 6 地域 13 市町村	376
33	台風 27 号	10 月 25 日～10 月 26 日	茅野市以下 2 地域 3 市町村	381
34	土砂災害	10 月 28 日	小谷村	385
35	雪害(農業被害の発生)	11 月 13 日	中野市以下 1 地域 3 市町村	390
36	土砂災害	11 月 17 日	飯山市	392
37	雪害(11 月～12 月)	11 月～12 月	白馬村以下 2 地域 2 市町村	396

参考文献				410
資料				411
1	平成 25 年災害別被害状況			412
2	平成 25 年に発生した震度 4 以上の地震状況			413
3	気象観測所一覧表			414
4	気象観測所配置図			415
5	長野県の注意報・警報・特別警報発表基準			416
6	地域細分一覧表			432
7	長野県細分図			433

用語解説

本書に使用した気象用語は、気象庁が定める下記の基準に従った。

ただし、災害の種類(または名称)表記にはこの基準を適用しないこととした。

項目	用語	意味
気圧配置	高気圧	高さの同じ面で、周囲よりも気圧が高く、閉じた等圧線で囲まれた所。高気圧の中心付近では上空から空気が下降気流となって降りてくるため一般に雲が少ない。
	移動性高気圧	温帯低気圧と交互に東に移動していく高気圧。春、秋に多く現れる。
	大陸の高気圧	主として寒候期に大陸に存在する高気圧。シベリア高気圧もこれに含まれる。
	太平洋高気圧	夏期を中心に強まる高気圧で、その中心はハワイ諸島の北付近にある。
	低気圧	高さの同じ面で、周囲よりも気圧が低く、閉じた等圧線で囲まれた所。低気圧は温帯低気圧と熱帯低気圧に分けられるが、単に「低気圧」といった場合は温帯低気圧のことをいう。
	気圧の谷	高圧部と高圧部間の気圧の低いところ。
	温帯低気圧	中緯度や高緯度に発生する低気圧。通常は単に「低気圧」という。
	熱帯低気圧	熱帯や亜熱帯地方に発生する低気圧の総称。
	台風	北西太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、中心付近の風力の最大が8(風速17.2m/s)以上のもの。
	冬型の気圧配置	日本の西側の大陸側が気圧が高く、東側で気圧が低い、「西高東低」の気圧配置。主に冬期に現れる。
天気	天気	気温、湿度、風、雲量、視程、雨、雪、雷などの気象に係る要素を総合した大気の状態。
	快晴	雲量が全天を10とした時、1以下の状態。
	晴れ	雲量が2以上8以下の状態。
	曇り	雲量が9以上あって、中・下層の雲が上層の雲より多く、降水がない状態。
	薄曇り	雲量が9以上あって、上層の雲が中・下層の雲より多く、降水がない状態。
雨	雷雨	雷をとともう雨。
	ひょう	積乱雲から降る直径5mm以上の氷塊。
	豪雨	1時間又は3時間の少なくとも一方の大雨警報基準を超え、かつ24時間の警報基準を超える大雨。
	集中豪雨	狭い範囲における豪雨。局地的な豪雨。
	局地的な大雨	狭い範囲における大雨。
	大雨	大雨注意報基準以上の雨。
	やや強い雨	雨量強度が、1時間におよそ10mm以上20mm未満の雨。
	強い雨	雨量強度が、1時間におよそ20mm以上30mm未満の雨。
雪	激しい雨	雨量強度が、1時間におよそ30mm以上50mm未満の雨。
	あられ	積乱雲から降る直径5mm未満の氷の粒。
	みぞれ	雨まじりに降る雪。または、解けかかって降る雪。
	大雪	大雪注意報基準以上の雪。

	強い雪	降雪量が1時間に3cm以上の雪。
	弱い雪	降雪量が1時間に1cmに達しない雪。
	小雪	数時間降り続いても、降水量として1mmに達しない雪。
	降雪量	降雪の深さ(cm単位)、本書では1時間降雪量の日合計値を日降雪量とした。
	積雪(の深さ)	積もった雪の深さ(cm単位)。
	最深積雪	1日に複数回観測したうち最も深い積雪値。
気温 湿度	気温	通常は地上1.25~2.0mの大気のを温度を摂氏(°C)単位で表す。
	日平均気温	1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均。
	最低(最高)気温	通常は日最低(最高)気温のこと(日界は0時)。
	寒波	主として冬期に、広い地域に2~3日、又はそれ以上にわたって顕著な気温の低下をもたらすような寒気が到来すること。
	寒気	周りの空気に比べて低温な空気。
	暖気	周りの空気に比べて高温な空気。
	放射冷却	地表面の熱が放射によって奪われ、気温が下がること。
	大気の状態が不安定	局地的な対流活動が起こりやすいこと。上空に寒気が流れ込んだり、下層に暖かく湿った空気が入った場合に生じることが多い。
	暖湿気流	周りの空気に比べて高温で、かつ湿った空気。
	湿潤(湿った)空気	湿度が高い空気。目安として湿度がおおよそ80%以上の状態をいう。
	湿度	普通は相対湿度のこと。相対湿度は水蒸気量と、その時の気温における飽和水蒸気量との比を百分率で表したものだ。
風	風向	風の吹いてくる方向。観測では16または32方位を用いる。
	(南)よりの風	風向が(南)を中心に(南東)から(南西)の範囲でばらついている風。
	風速	10分間平均風速を指し、毎秒〇.〇m、または〇.〇m/sと表す。
	最大風速	10分間平均風速の最大値。
	最大瞬間風速	瞬間風速の最大値。
	やや強い風	風速がおおよそ10m/s以上15m/s未満の風。
	強い風	風速がおおよそ15m/s以上20m/s未満の風。
	非常に強い風	風速がおおよそ20m/s以上30m/s未満の風。
	暴風	「非常に強い風」に同じ。台風などの暴風域は平均風速がおおよそ25m/s以上の領域。
	猛烈な風	風速がおおよそ30m/s以上、または最大瞬間風速がおおよそ50m/s以上の風。
		強風